

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2007～2010

課題番号：19520081

研究課題名 (和文) 日本における霊籤・御籤・神籤をめぐる思想史的展開に関する総合的研究

研究課題名 (英文) The overall research on thought historical development over written oracle in Japan

研究代表者

大野 出 (Ohno Izuru)

愛知県立大学・日本文化学部・准教授

研究者番号：60247418

研究代表者の専門分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・思想史

キーワード：東洋・日本思想史・御籤

1. 研究計画の概要

本研究の最も大きな目的は、日本全国の神社仏閣において用いられている (用いられていた) 豊富な情報量を持つ御籤 (みくじ)・神籤 (みくじ) に記された文言から、これまでの既存の文献資料のみからでなく、新たな史料に基づいて当該及び周辺分野を照射することになる。そのための新たな史料を掘り起こすことも本研究の大きな目的の一つである。

2. 研究の進捗状況

当該研究は順調に進捗している。また、当該の研究途上において意外な発見もあり、当該研究を発展的に推進するために最終年度申請をしたところである。

3. 現在までの達成度

十分に達成できたものと考えている。その結果として上述の「2. 研究の進捗状況」の通り、最終年度申請をした。

4. 今後の研究の推進方策

上述の「2. 研究の進捗状況」及び「3. 現在までの達成度」の通り、最終年度申請をしており最終年度申請の研究課題である「社会調査法に基づく寺社における御籤・神籤に関する思想史研究を中心とした総合的研究」の方向で推進していく方策である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕 (計 3 件)

「日本における霊籤の受容と展開に関する一考察—霊籤からおみくじへ—」中国哲学 (北海道中国哲学会) 第 35 号, 271-283 (2007), 1, 査読無 (研究代表者 大野出)

「元三大師御籤本における『道具』という判断項目—そこから見えてくる、おみくじ武家由来の可能性」愛知県立大学説林, 愛知県立大学国文学会 / 愛知県立大学国文学会 編, 第 57 号, 37~60, 査読無 (2009. 3)

(研究代表者 大野出)

「占い・おみくじをめぐる学際的研究」, 愛知県立大学文学部論集, 社会福祉学科編, 第 57 号, pp. 99-115, 2008, 査読無 (研究分担者 松宮朝・研究代表者 大野出)

〔学会発表〕 (計 4 件)

「みくじ研究における未解明の諸問題」 (平成 21 年 11 月 22 日) をはじめ、江戸町人研究会において平成 19 年度から平成 22 年度、各年度各一回の研究発表を行った。(研究代表者 大野出)

〔図書〕 (計 1 件)

「元三大師御籤本の研究—おみくじを読み解く—」思文閣出版, 2009, 194 頁 (研究代表者 大野出)

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日：
国内外の別：